

進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

2014.9.26 NO. 6

朝晩涼しくなり大変過ごしやすい季節となりました。9月は「障害者雇用支援月間」です。今年も尼崎、神戸、姫路方面で「障害者合同就職面接会」が開催されました。本校からも生徒たちが参加し、普段とは違う雰囲気緊張しながらも、希望する企業で採用して貰えるように、頑張っていました。普段での習慣はつい癖となって外でも出てしまいます。合同面接会は多くの方が参加されるので、1人あたりの面接時間は10分程度。いかに自己アピールし、面接官の印象に残るかということが重要になってきます。そこで必要とされるのが、前回の号でも書いた①働くことへの意欲②人柄の良さという点が重要視されます。特に②人柄の良さを見るのが身なりや挨拶です。制服をきれいに着る、言葉遣いに気を付ける、挨拶ができる、そういった当たり前のことが自然とできることが大切です。その日だけできたとしても、意味がありません。きっとそれは本当の力ではないからです。いろいろな場面で制服や作業着を着崩したり、腰パンで着たりしていませんか？なぜ腰パンがダメなのか？というのは「見た目がよくない！」「だらしない！」ということだけではないのです。「安全」の為でもあるのです。ズボンの裾が引っかかって転んだとしましょう。企業からすれば「ただ転んだだけ」ではないのです。そこから何か別のトラブルが発生したとすればどうでしょう？転ぶ→物にぶつかる→物が倒れる→他の方が怪我をするというように二次的な事故が発生してしまいます。企業はそういった二次的な事故を未然に防ぐ為に安全教育を徹底されています。制服や作業着でおしゃれをする必要はありません。普段からきれいに制服を身につけられるように心がけていきましょう。

知っておこう⑥

兵庫障害者職業センターについて紹介します。兵庫障害者職業センターはハローワークと協力して、就職に向けて相談、職業能力等の評価、就職前の支援から職業後の職場適応のための援助まで、個々の障害のある方の状況に応じた継続的なサービスを行っています。主に提供されているサービスは①職業相談・職業評価、②職業準備支援、③ジョブコーチの派遣④リワーク支援(精神障害のある方の職場復帰支援)です。在学中に関わりを持つことはあまりないかもしれませんが、将来何か相談をしたいと思った時に相談できる場の一つであるということを知っておきましょう。場合によって、重度判定や内定が確定した後に事業主の方がジョブコーチを要請すれば、事前に伺うこともあります。

一部 神戸市就労支援機関ガイドより引用

～お知らせ～

今年度も本校で進路セミナーを開催します。ゲストにすみでんフレンド(株)、阪神北障害者就業・生活支援センターをはじめ本校の卒業生や保護者の方をお招きします。働くこと、社会人になって学んだこと等をアドバイスして頂きます。午後からは保護者と生徒に分かれての分科会です。先輩方に質問したいことをまとめておきましょう。

1, 2年生は進路セミナーの終了後に現場実習の挨拶に伺います。

日時：10月24日(金) 10:45～14:10

場所：本校体育館

テーマ：就労・継続に向けて



※HP引用 すみでんフレンド